

この住民税の切符（納税通知書）は計算違いではないか。暮らしがなりたたない。こんな老人夫婦からしぼりとるとは……。
（三和町 男性 72歳）

生んだわが子が社会の負担にならないよう頑張っても、頑張っても、体力、気力、金力、つきるときが来ます。そのときには（つれていこう）といつもかんがえてます。（障害児の母）

弱者に痛みを強いる政治から くらしを守るために **ひきつづき** がんばります

日本共産党
県議会議員 まつざき真琴



安倍新内閣は、格差と貧困をひろげた「構造改革」をさらに加速させようとしています。日本共産党のまつざき真琴議員は、くらしの声を正面からとりあげ、国の悪政から住民の利益を守るために献身しています。



障害者自立支援法見直し問題で県に申し入れ



県北部災害救援 さつま町虎居商店街で



青年とともに街頭に立つ

■今年度12億円も県民税大增税。6月議会で県税条例改正に反対 障害者自立支援法制度の見直し、県独自の助成措置を要求

6月議会に、県民税を大幅に引き上げる県税条例一部改正案が提案されました。まつざき真琴議員は討論に立ち、「定率減税が半分に減らされたことによる影響が大きく、県民は今年度12億円の増税になる。来年度は定率減税の全廃でさらに12億円が県民の負担増となる」と指摘、断固反対しました。

障害者自立支援法が実施され、障害のある人たちの生活や関係福祉施設の運営に深刻な影響が出ています。まつざき真琴議員は、障害者の声を9月議会でとりあげ、国の制度見直しとともに、利用者の負担軽減、施設への助成、補助を行った自治体への支援など県独自施策を強く要求しました。

■県北部豪雨災害、床上浸水の全半壊認定取り扱いで奮闘。当初43戸の認定が1467戸に

県北部を襲った豪雨災害。まつざき真琴議員は、直後から被災現場に足を運び、住民・行政と力をあわせ被災者の要望実現に奔走しました。関係首

長から「災害認定での適切なアドバイス」にお礼の表明も。9月議会では被災者の実態を示し、「県としてもっと積極的なとりくみを」とせまりました。

■誘致企業はパートではなく、正規雇用を！ 雇用、農業、保育問題で要求

低賃金、無権利の非正規雇用が急増するもど、「企業立地補助金」の交付企業に対して、正規雇用を位置づけるよう要求。農業問題では、国いいなりでなく、本県農業の現状にあった意欲ある農

家全てを大事にする経営安定策を講じるべきと質しました。保育制度の根幹を崩す「認定こども園」制度。営利企業の参入を認めず、「子どもの最善の利益」第一で対応することを求めました。

人工島は200億円の散歩コース？ 「県民の皆さんにとって、一番の散歩コースになり得ると思っております」（H18.9.4 知事、定例記者会見）

日本共産党鹿児島市議団と連携して

ムダづかい人工島建設をきびしく追及

事業の必要性崩れる
埋立土砂の半分以上は公共事業残土

「桜島の土石流土砂捨て場に」と着手した人工島建設。まつざき真琴議員の質問で、埋立て土砂の半分以上は桜島土石流土砂以外の公共事業残土をあてることが明らかになり、事業の前提が崩れました。

新利用計画——防災拠点
台風たびに冠水の危険



大潮の満潮時、台風たびに越波、冠水している与次郎ヶ浜埋め立て地の堤防高より低い人工島の堤防。まつざき真琴議員は、四方八方が海に面し、堤防も低い人工島が防災対応空間になるのかと追求、中止を求めました。

人工島問題を追及する唯一の議員、まつざき真琴

人工島問題を追及するのは、「オール与党」化がすすむ県議会で日本共産党のまつざき真琴議員だけになっています。

6・9月議会特集

発行 日本共産党県議会議員団
控室 鹿児島市鴨池新町10-1鹿児島県議会内
電話・FAX 099-286-3977

まつざき真琴
県議会ニュース

県議団ホームページ
<http://jcp-kagoshima.com>
メールアドレス
m-matsuzaki0416@jcp-kagoshima.com

県政アクトにご協力ください

子育て支援
若者の雇用
くらしと営業
まちづくり

いのちと暮らしを守る あったか県政へ でいっしょに力をあわせましょう

これでもか、これでもかと押しつける負担増・庶民増税の痛み……
こんなときだからこそ、県政は暮らしを守る防波堤の役割を果たすべきです。県議1期目、まつざき真琴の活動を紹介します。

日本共産党

まつざき真琴

議会のムダを なくす積極提案

議員の海外視察は 中止すべき

「県民の置かれている現状からみたとき、公費を使っての海外視察を県民は望んでいるとは思えない」（6月議会）と海外視察の中止を求めたまつざき真琴議員。三島・十島への保健師派遣予算（年90万円）を削り、一方で3年間で2347万円かけた海外視察が「オール与党」で行われてきました。

1日当たり9,700円 議員「出会手当」の見直しを

県議会に出会したとき議員歳費とは別に支給される費用弁償、額は旧鹿児島市区の議員で1日当たり9,700円（日当+交通費）。これも見直しを要求しています。

子ども教育 乳幼児医療費助成が「自動償還払い」に 30人学級の対象学年を拡大

父母のみなさんと署名をすすめ、議会のたびにとりあげ、めんどろな手続きなしの乳幼児医療費「自動償還払い制度」がついに実施の運びに。小学校2年生まで30人学級実施にも力をつくしました。



乳幼児医療費無料化で伊藤知事に申し入れ

雇用営業 大型店進出から地元商店守れ 青年向け「労働者の権利パンフ」作成を

地元商店をまもる「まちづくり条例」制定を議会で提案。商店街組合の要望や党市議団の提案が活きて、このほど鹿児島市は、大型店の「地域貢献に関する指針」を策定。若者が働きがいのある仕事をもてるよう、労働者の権利を支援する手だてを県に要求しています。



「地域商店守れ」中央商店街振興組合と懇談

まちづくり 「浸水対策」など安全なまちづくり 住みよい公営住宅めざして

台風・大雨のたびに浸水被害——日本共産党市議団と連携し緊急時の避難用駐車場確保などに努力。県営住宅建て替えでは、入居者の要望を具体化するようとりくんでいます。



天文館電車通りで県議会報告

相談相手 渋滞解消、バス路線問題に尽力 市民からの相談は3年間で280件

吉野地域の交通渋滞解消、岩崎グループの路線廃止にともなう対策など地域要求の実現に努力。賃金未払い、多重債務、夫の暴力、介護、医療……など寄せられる困りごとの解決には誠心誠意とりくんでいます。



吉野交通渋滞解消！県土木事務所で交渉 住民とともに

憲法・教育基本法改悪、増税・負担増おしつけの安倍新内閣…… くらし・福祉、平和を守る「たしかな野党」日本共産党が必要です

「国民が主人公」つらぬいて

創立以来、主権在民を主張。国民に顔向けできないような大きな間違いをせず、戦前・戦後いっかんして同じ名前前で活動している唯一の政党です。

いま 高齢者への大増税やめ、大企業に応分の負担を

所得が減って苦しむ庶民に増税と負担増、史上空前の大もうけをあげる大企業には減税。こんな不公平は許せません。軍事費や公共事業のムダをなくし、大企業・高額所得者にふさわしい負担を求めれば社会保障を支える財源はできます。

侵略戦争に反対した唯一の党

日本共産党が戦前、命をかけて侵略戦争反対をつらぬいた歴史がアジアで信頼を広げています。

いま 憲法9条まもれ

憲法9条を変え、アメリカとともに「海外で戦争をする国」をつくる動きにたいして、草の根から反対の運動が広がっています。日本共産党は、憲法を守り、米軍基地強化を許さない県民の運動の発展に力をつくします。

まつざき真琴さんと力を合わせ
みなさんの声を
国政に届けます



春名なおあき
元衆議院議員(比例区)



山口はるき
党県国政対策委員長